

- 問1 1867年、江戸幕府第15代将軍として政権を朝廷に返上した人物は誰？
- 問2 藩を廃止して県を置き、中央から知事を派遣して全国を直接統治した改革が行われたのは何年？
- 問3 明治政府が近代化のために進めた、産業を興して生産力を高めようとする政策を何という？
- 問4 「天は人の上に人を造らず」という一節で始まる、福沢諭吉が執筆した啓蒙書を何という？
- 問5 戊辰戦争の舞台となった、北海道にある都市の名前は？
- 問6 明治政府が、欧米列強の植民地化を防ぎ、独立を維持するために掲げた国家政策を何という？
- 問7 明治天皇が神々に誓う形で示し、政治の基本方針とした文書を何という？
- 問8 明治政府が国家の統一を図るため、地方の権限を政府の中心に集中させた体制を何という？
- 問9 明治維新の初期、1868年に京都近郊で新政府軍と旧幕府軍が激突し、内戦のきっかけとなった戦いを何という？
- 問10 明治政府が士族に対して禁止した、身分を象徴する武器の所持を何という？
- 問11 地租改正などの重い税負担に苦しむ農民が、明治政府に対して起こした抵抗運動を何という？
- 問12 明治政府が国民から兵士を確保するために発布した、満20歳以上の男子に兵役の義務を課した法令を何という？
- 問13 明治政府において、初代の内務大臣にあたる官職に就き、殖産興業を推進した役職を何という？
- 問14 明治新政府が旧幕府軍との戦いに勝利し、全国を統一した一連の内戦を何という？
- 問15 1867年に江戸幕府が朝廷へ政権を返上し、天皇中心の政治に戻ることを宣言した出来事を何という？
- 問16 明治政府が国力を高め、軍事力を強化して列強に並ぼうとした国家方針を何という？
- 問17 大政奉還の直後、天皇を中心とする新政府の樹立を宣言した命令を何という？
- 問18 幕末から明治時代にかけて、『学問のすゝめ』を著して欧米の近代思想を日本に紹介した啓蒙思想家は誰？
- 問19 明治政府が全国の藩主から土地と人民を天皇に返還させた政策を断行した年は何年？
- 問20 明治政府が廃藩置県を実施した年は何年？
- 問21 明治政府が中央集権化を進めるため、全国の藩主に命じて土地と人民を天皇へ返還させた制度を何という？

答え合わせ・解説

問1	答え 徳川慶喜	徳川慶喜は、政権を朝廷に返上することで徳川家を中心とした新たな政治体制を築こうと画策し、1867年に大政奉還を断行しました。これにより約260年続いた江戸幕府は終焉を迎えました。
問2	答え 1871年	1871年、明治政府は断固とした姿勢で廃藩置県を断行しました。従来の藩をすべて廃止して県を設置し、中央から知事を派遣することで、国家が直接国民を統治するシステムを確立しました。この改革により、江戸時代から続いた大名による領主制が完全に終わりを迎えました。
問3	答え 殖産興業	政府は最新の機械や技術を輸入し、官営模範工場を建設するなどしてモデルとなる産業を育成しました。また、交通網としての鉄道や電信の整備も積極的に行い、民間企業の成長を後押ししました。
問4	答え 学問のすゝめ	『学問のすゝめ』は、福沢諭吉が人々に平等と学問の重要性を説くために著した書物です。「天は人の上に人を造らず」という言葉で有名で、人間は生まれながらに平等であり、自らの知性を磨くことで独立した個人となるべきだと説きました。
問5	答え 函館	
問6	答え 富国強兵	富国強兵は、近代的な産業を育てて税収を増やし、強力な軍隊を持つという政策です。この方針に基づき、地租改正による財源確保や、官営模範工場の設立、徴兵制の実施などが強力に推進されました。
問7	答え 五箇条の御誓文	1868年に発表された「五箇条の御誓文」は、新しい国家建設の理念を明文化したものです。「広く会議を興し、万機公論に決すべし」という一節は、広く意見を募り、合議によって政治を決定するという民主的な方向性を示した画期的な内容でした。
問8	答え 中央	中央集権とは、政府の中枢が地方に対しても強力な支配権を持ち、全国一律の制度で統治する体制です。廃藩置県により藩を廃止して県を置いたことで、中央政府が任命した知事が地方を治める形が整いました。
問9	答え 鳥羽・伏見の戦い	1868年1月、京都南部の鳥羽・伏見で旧幕府軍と新政府軍が衝突しました。圧倒的な兵力を持つ幕府軍に対し、新政府軍は「錦の御旗（にしきのみはた）」を掲げて戦い、官軍としての正当性を主張しました。結果として旧幕府軍が敗走し、徳川慶喜は江戸へ退却しました。
問10	答え 帯刀	1876年の「廃刀令」により、公務中を除き士族が刀を腰に差すこと（帯刀）が禁止されました。これにより、武士の象徴が取り払われ、士族と平民の身分的な境界が形式的にも解消されました。
問11	答え 一揆	この重い負担に抗議して、全国各地で大規模な一揆が起こりました。政府は、これら社会的な動揺を抑えるために、1877年に地租の税率を3%から2.5%に引き下げる措置をとりました。
問12	答え 徴兵令	1873年に出されたこの法令により、満20歳以上の男子は兵役の義務を負うことになりました。これにより、武士だけが戦う時代は終わり、国民皆兵の体制が整えられました。
問13	答え 内務卿	1873年に設置された内務省の長官を内務卿と呼びます。初代の内務卿には大久保利通が就任し、殖産興業政策を強力に推進しました。このポストは後の内閣制度における内務大臣へと引き継がれました。
問14	答え 戊辰戦争	1868年の鳥羽・伏見の戦いから始まり、東北地方、最後は北海道の箱館まで続いた内戦を指します。近代的な軍制を整えた新政府軍が、旧幕府の残存勢力を次々と制圧しました。この戦いを通じて、日本は武家による封建制から、天皇を頂点とする近代的な統一国家へと大きく舵を切ることになりました。
問15	答え 王政復古の大号令	1867年12月9日、京都御所において「王政復古の大号令」が出されました。これにより、徳川將軍家の権限が完全に廃止され、天皇のもとに天皇・摂政・関白などを廃した新しい政府が置かれることが宣言されました。
問16	答え 富国強兵	経済発展を目指す「殖産興業」と、強力な軍隊を育成する「富国強兵」をセットで推進しました。これにより、鉄道の整備、官営工場の設立、徴兵制の施行など、多角的な近代化策が実行されました。
問17	答え 王政復古の大号令	1867年12月、薩長などの倒幕派が天皇の権威を背景に発したのが「王政復古の大号令」です。これにより、將軍職の廃止と天皇中心の新政府の樹立が宣言され、徳川家による支配が完全に終わりました。
問18	答え 福沢諭吉	福沢諭吉は幕府の使節団として欧米を視察し、そこで学んだ近代的な考え方を日本に広めました。代表作『学問のすゝめ』では、身分にとらわれず、実学を学ぶことの重要性を説いています。また、慶應義塾を創設し、数多くの人材を育成しました。
問19	答え 1869年	1869年、薩摩・長州・土佐・肥後の四藩主らが主導し、版籍奉還が行われました。これにより、藩主は藩知事に任命されましたが、領地と領民の支配権を天皇（政府）に返上することとなりました。
問20	答え 1871年	明治政府は1871年に廃藩置県を断行しました。藩を完全に廃止し、中央政府が任命した府知事や県令が地域を治める体制へ移行しました。これにより、地方の力は中央へと集中されることになりました。
問21	答え 版籍奉還	明治政府は中央集権体制を確立するため、1869年に藩主から土地（版）と人民（籍）を天皇に返還させました。これにより、名目上は全ての土地と人民が天皇のものとなりました。旧藩主は政府から知事に任命されましたが、実権は次第に中央へと移行していきます。